

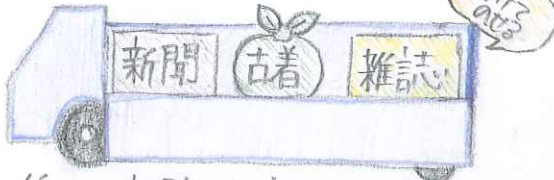
資源回収協同組合

仕事内容

1日、2日目

資源(雑誌、新聞、古着など)の回収【1日は馬屋、2日は坂本】

回収したものを下ろす。(夕里浜)



集まった新聞、雑誌などは...一度おいて、四角くかためます。

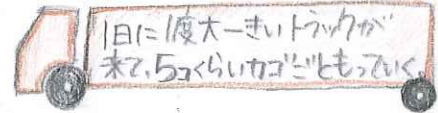
新聞はもう一度新聞へ
雑誌などは、トレット10-11へ

3日目

古着を集める場所(夕里浜)で、古着をのせトラックから古着を下ろす。



→ 衣類の感じのゴミに、古着の袋を入れます。衣替えの時期は沢山ある。



集まった古着は...

- ・糸にもと"さ"れる。
- ・外国で安く売られる。

雨などにぬいてしまうと、売るときに出れないので、雨の日出るのはダメ

新聞と雑誌をゴミにまとめて出すと、分けなくてはいけないので、しっかり分ける。

しっかり分別しよう。

ココロズミ

仕事か"速い"。とても重い資源でも、片手で車ごと持ち上げていたり、資源をばらばらにわけても、混ぜてまた別のゴミを素早くとりわけたりと、長年の経験がなによりも速いような速さでした。



体験してわかったこと

普段自分達の使う、本、洋服などが"自分の使った後、どうなるのか"を3日間体験して知ることができ、驚きました。また、それだけでなく、回収するが"他人の苦しみ"も知りました。ただ"あてる"だけでなく、回収する人の事も考えて、しっかり分別等、ルールを守り、互いに"フラスコ"になるなど感じました。また"また"沢山ありましたが、今回学んだ"こと"を、今後の生活等に生かしていけたらなと思います。

おたがき

3日間はあっという間に終わってしまい、また"いたがた"なと思える体験でした。とても優しく接してくださったり、沢山話しかけてくれた"おたり"などとても感謝しています。今回学んだ事を家族や周りの人にも伝えていけたらなと思います。3日間本当にありがとうございました。